



## 修学旅行の自主研修（自由と責任）

### ＜仙台市立小学校での自主研修のはじまり＞

#### ○思い出に残る有意義な修学旅行にしたいという思い

今から31年前、仙台市内の小学校数校で、同時多発的に初めて「修学旅行の自主研修」が実施されました。太白区の大野田小学校もその一つで、私はそのとき、大野田小学校で6年2組の担任でした。1組はベテラン女性の学年主任、3組は30代の先輩男性教諭という学年でした。

卒業までに多くの場面で子供たちの力をフルに発揮させ、思い出に残る最高学年にしようと考えてる中で、修学旅行のあり方についても議論になりました。

当時の修学旅行は、ぞろぞろと集団で、旗の後ろについて観光地を巡り、一泊しかしない夜は、遅くまで起きていて、部屋での枕投げが恒例行事のようになっていました。しかも、それが修学旅行の一番の思い出という子供さえいたほどで、3人とも、そんな修学旅行にはしたくないという意見では一致していました。

それでは、どんな修学旅行がいいのか。以下のような理想の姿を考えました。

- ・1日目の活動を、子供たちが主体的に取り組めるものにする。
- ・事前指導から子供たち自身がじっくりと時間をかけて計画し、意欲と期待を持って当日に臨めるようにする。
- ・夜は疲れてぐっすりとする修学旅行にする。

この姿を目指すために考えたのが、数人のグループによる自主研修でした。

#### ○実施までの条件整備

学年としてこの計画を出した際、周囲の反応は厳しいものでした。

校長は「児童だけで知らない町を歩くことは危険であり、認められない。」という考えでしたし、保護者からも、同様の理由で不安の声があがりました。

私たちが子供の頃から現在まで修学旅行の形は同じで進歩や工夫を感じられない。PTA 会長は6年生の保護者でもあり、次のような考えで、周囲に働きかけてくださいました。

- ・私たちが子供の頃から現在まで修学旅行の形は同じで進歩や工夫を感じられない。
- ・5年生の時に野外活動で自主的な活動を行って成果をあげているのに、6年生では主体性のない宿泊学習というのは、教育的な系統性として間違っている。
- ・先生方と子供たちを信じて、思い出に残る活動をさせてあげたい。
- ・実施にあたっての安全対策についても、万全を期す形で計画されている。

その後、詳細な計画を提示しながら周囲の理解をいただき、実施に漕ぎ着けることができました。

※裏面へ続く

..... 切り取り線 .....

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2021年6月11日（ ）年（ ）組 児童氏名

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただけるとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。

## ○指導の実際（当時）

実施場所：福島県喜多方市

- ・狭いエリアの中に、史跡や美術館・博物館などの見所が凝縮されており、徒歩での活動が可能である。
- ・教員が自転車で回ることができる範囲で、安全確保の面で安心できる。
- ・ラーメンが有名で、旅の楽しみである「食」についても選択肢が多い。

実施時間：昼食も含めて、子供たちにじっくりと計画させ、有意義な体験ができるよう、到着時から5時間を確保した。（早く戻ってきてはいけないというルールを徹底させ計画させた。）

事前指導：（1）あいさつ（●道の尋ね方●自己紹介の名刺作製＝親しくなった方やお世話になった方に渡すため●ラーメン屋での礼儀 等）・・・・・・2時間

（2）ラーメン屋選び（●ビデオ視聴（喜多方のラーメン屋紹介●ラーメンマップ配布）  
・・・・・・・・・・3時間

（3）行動計画の作成（班毎）・・・・・・4時間

安全対策：（1）2カ所のチェックポイントを指定。それ以外に、ラーメン屋での昼食と2カ所の見学を義務づけ、コースと到着予定時刻（地図の距離から）を報告させた。

（2）引率者の人数確保 ●職員の配置と役割分担の明確化

（3）本部に職員1名が待機し、グループからの電話報告や緊急時の対応に当たった。

●グループ毎に、中間地点で本部に電話連絡を入れることを義務づけた。

（現在地・異状の有無・今後の予定・到着予定時刻）

（4）チェックポイント2カ所に1名ずつ待機し通過を確認。

（5）市内巡回2名（自転車借用）●携帯電話借用（当時は珍しかった）

事前指導では、自由の大切さやすばらしさと共に、その自由は責任ある態度と努力によって自分で守っていくものであることを理解させ、主体的に自主研修に取り組む意欲と責任感の伸長を促すよう留意しました。

当日、子供たちは、緊張しながらも期待に応えて精一杯活動し、夜は全員、消灯前にぐっすりと眠りました。

## <教育課題発表会で全市に向けて提案・発信>

その年の12月に、毎年行われている教育委員会主催の「仙台市教育課題研究発表会」で、私が学年を代表して、全市に向けてこの実践について発表しました。

仙台市図書館のホームページ <https://lib-www.smt.city.sendai.jp/>でトップページの検索欄に「小崎功二」と打ち込んでいただくと、いくつかの私の著作と一緒に「仙台市教育課題研究集録 第14集 第17回教育課題研究発表会研究集録」という項目が出てきます。その中に「自主活動を取り入れた修学旅行」というタイトルでの発表が掲載されています。発表の概要は前述の通りです。

発表後、当初は、形だけをまねて事前の意義や目的についての指導が不十分な学校も見受けられましたが、子供たちにとって思い出に残る有意義な活動として多くの学校で取り入れられるようになり、その後各校独自の工夫を取り入れながら広がりを見せ、現在では、ほとんどの小学校で自主研修を取り入れるようになりました。

郡山小学校でも、修学旅行の初日のメインは自主研修です。今年度は6月29日、30日の一泊二日で、会津若松に行って参ります。本校の6年生の実態や研修場所である会津若松市の特徴、感染症対策などを考慮しながら慎重に計画し、子供たちが「本当の自由」を理解し、主体的に準備して自律した活動ができるよう、支援して参ります。